



UMEX 夢っくす ニュース

かわらばん 秋号

新入生歓迎パーティー

高橋 和子



焼き肉は美味しかったですか？



9月22日（土）に国際大学のバーベキューサイトに於いて、恒例の新入生歓迎パーティーが行われました。

台風17号が近づいていて、当初は雨マークも出ていたので、参加者が少ないのではないかと、雨用のタープを張らなければならないかと当日まで心配でしたが、私達の心配とは裏腹に暑くもなく雨も降らず、最高のバーベキュー日和となりました。参加人数も多分過去最高の140名以上の学生さんや会員の皆様にご参加頂きました。逆に食材が足らなくなり、会員の皆様には再度買い出しに出かけたりと大変ご苦労をおかけしました。また、毎年お手伝いして頂いている会員の高橋勇さんとお仲間の皆様は火越しから調理まで汗だくになりながら沢山の肉を調理して頂きました。お休みとる暇もなく皆の為にご尽力して頂き、本当に頭が下がります。いつもありがとうございます。お陰様で多くの学生さんから沢山の感謝の言葉が届いています。

入学式は9月27日（金）なので、来日したばかりの学生さん達は『お互いを知る良いチャンスとなりました』、『日本に着いてから初めての楽しい一日です。』、『多くの地域の日本人の人と知り合いになれてよかったです。』等々、これを機会に夢っくすの会員の皆様と一緒に学生さん達と楽しい思い出作りができることを期待しています。

今後も夢っくすの運営や活動に会員の皆様にご協力を宜しくお願い致します。

兼続公まつり花火観賞

大嶋 映子 浴衣

佐藤 八重子

7月19日（金）に六日町で開催された兼続公まつり最終日の花火をアフリカのマリからの留学生のサンガレさん他数名の学生と六日町公民館日本語教室のダニエルさん（米国）と観賞してきました。毎年、観賞場所は桜井さん宅。お宅は魚野川沿いにあり、花火が真上に上がるベストポジションです。前半は残念ながら土砂降りの雨、観賞はあきらめ、ガレージで持ち寄った夕食を先に頂くことに。桜井さんの奥様が手作りのコロッケを準備して下さり、その味が私の他界した母の味とそっくりでしばし懐かしさを感じながらコロッケを頂きました。私は例年、野菜の煮しめとお赤飯を持参しており、お互いの国の郷土料理の話に花が咲きました。幸運にも後半は雨が上がり、皆、カメラ片手に外へ走り出し、「こんなに大きな花火を間近で見たことがない！ものすごい音と振動！本当に素晴らしい！夢の中にいるようだ！…」と休みなく撮影していました。日本での素敵な思い出になれば幸いです。皆さんと素敵な時間を過ごせ感謝しています。新学期も始まり、夏休みだった火曜サロンも再開しています。今年もどんな方々と出会えるのかとても楽しみです。



猛暑の今年の夏。浴衣を着たいと言う学生に楽しんでもらいました。学生も我々も汗が流れました。1時間位写真を撮ったりと喜んでました。着替える時が大変。汗びしょりで脱ぐにも苦労の感じでした。毎年沢山の学生に着せていますが、今回初めて2人のアフリカの学生さんに（汗をかいたので自分で洗ってから返したい）と言われ、びっくりすると共に、感激で胸がキュンとしてしまいました。





新入生歓迎の日

櫻井 徳治

9月27日（金）午後2時から国際大学の体育館で「新入生歓迎の日」が開催されました。今年も夢っくすに来賓としての案内を頂き、今回は私が代表して出席してきました。

今年の新入生は38ヶ国・地域から158人が入学しました。学長からの歓迎の挨拶、来賓の紹介に続き、学生の紹介では国別に1人1人の名前で紹介されました。民族衣装での参加者もあり、国際色豊かな歓迎の日になりました。

今年3月末での南魚沼市の外国人登録者は75ヶ国で多くの国からの滞在者がいることは、国際大学があるからです。小さな市ですが、これは大きな財産でもあります。

皆さんも夢っくすの活動に参加して色々な国の方と交流する機会があります。このような状況を大いに活用して世界の様々な国に広げてみてください。

マリアさんとの再会

小島 由美

「会いたい人に、会いたい時に会える」・・・これは人生における醍醐味の1つだと思います。私がそんな幸せな機会に恵まれたのは、そよ風が爽やかに感じる6月10日のことでした。実は5月のある日、日本在住のバングラデシュ人の卒業生アリさんに、「マリアさんに会いたいです！」と試みてみたところ、「卒業式の前後に来日しますよ！」とのことで、まさに望外の喜びでした。早速マリアさんにメールをし、待ち遠しい再会の日時を確かめました。

マリアさんは南アフリカ出身で、2018年に卒業し、現在はルクセンブルク在住です。聡明で気さくで親しみやすく、彼女が夢っくすに参加してくれると、何でも楽しさが倍増して華やかになったものです。個人的には、多忙でも誕生日プレゼントを贈り合い、普段の会話やメッセージは、彼女の目覚ましい上達により、日本語の割合が増えていくステップを体感することができました。

再会の日は、マリアさんの誕生日の前日だったので、夢っくすメンバーによるサプライズの誕生日会を兼ねたパーティーを開くことができました。和気あいあいとタコ焼きを作った後、突然照明を暗くして、大嶋さんが用意したろうソクを灯したケーキを登場させました。マリアさんの驚きぶりと満開の花のような笑顔に、私たちから自然と歓声と拍手が沸き起こり、全員が一体となって幸福感で包まれました。何を隠そう私たちは、昨年マリアさんの誕生日当日にパーティーをしたので、「私のために2回も誕生日を祝ってくれて、本当に感激です！ありがとうございます！」と言ってもらえました。卒業式以来約1年ぶりの再会ながら、更に固い絆で結ばれたこの瞬間に、私たちも胸がいっぱいになりました。

ところで、私からマリアさんへの最初のプレゼントは「名入れ箸」でした。「橋渡し（箸渡し）」をすることで、人間関係が良くなるのだそうです。思えばそれを契機に、マリアさんと私の心は急速に通じ合い、今でも強固な橋で繋がっているように感じます。私が突然「あなたのような素敵な友だちがいて幸せ！」と言った時に、彼女は「こちらこそ！だって、素敵な人には素敵な友だちができるものよ（笑）！」なんてことを、私の肩を抱いてサラッと言いのけるような、温かくてチャーミングな女性です。

このように日常に感動が舞い込むような場や、かけがえのない出逢いを授けてくれる夢っくすや国際大学には、感謝してもしきれません。これからも私なりに、色とりどりの橋を架けていかれることを願ってやみません。



スイカ祭り

高橋 和子

7月26日（金）に浦佐のあぐりばーく八色で行われたスイカ祭りに学生さん達と行って来ました。

スイカの原種は西アフリカ原産と言われているように、アフリカの学生さん達には馴染み深い果物です。しかし、日本では産地の浦佐でも価格が10倍位と高く、学生さん達にとっては残念ながら高価でなかなか食べられない果物となっています。ただ、この時期には毎年あぐりばーくでは500円で食べ放題という嬉しいイベントがあり、この時とばかりに名産の八色スイカを好きなだけ食べることができます。

その日はとても気温が高かったので、次々に運ばれるスイカを沢山頂きました。私達が食べているとTenyの『新潟一番』の生放送が始まり、私達の姿が放送されました。写真は放送が終わった後で女性アナウンサーさんやスタッフの方々と記念に撮影させて頂いたものです。残念ながら放送されたものを見ることはできませんでしたが、とても記念になるスイカ祭りとなりました。

夢っくすの日本語教室

平野 浩子

毎週土曜の午後1時～3時まで夢っくすサロンにて日本語教室を行っています。「教室」と言っても「今週は〇〇なことがあったよ。」「〇〇ではこんなイベントがあるよ」など、簡単な内容で日本語での会話を楽しんでいます。テキストを広げるもよし、共通の話題をやりとりするもよし、生活習慣や文化を紹介し合いながら交流を深めませんか？

皆さんのご参加を待っています。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。



ラナさん、ずっと幸せに！！

丸山 恵子

シリアのステキな奥様、ラナさん。二人の子供さんを育てながら、パートで働き、家事を手抜きすることなく、いつも優しく静かに頑張っていたラナさん。時間が空いた時は火曜サロンに来ていました。ご主人の卒業で新たな出発。8月27日（火）にお別れ会を行いました。

でっかいバースデーケーキのようなシリアのピラフを作ってくれました。すごく美味しかった！ 佐藤さんがプレゼントした青いチェックのシャツを着て、青いヒジャブでコーディネートして。貴方の姿からたくさん学ばせて頂きました。ありがとうございました。

ラナさん、ずっと幸せに！！ みんなの思いです。

夢っくす総会

田中 美智子

7月27日（土）に浦佐のえすみやで夢っくすの総会がありました。16人くらいの出席でしたが新しく会員になられた方も来てくださり、ちょっと華やいだ雰囲気もありました。

話がはずむに連れ、「こんなことやると学生さんが喜んでくれるんだけど、夢っくすから少しお金を補助してもらえないかしら？」などという声も上がりました。来年当り新しいイベントとして登場するかもしれませんね。期待しています。

“とりあえず始めてみましょうか？”で始めた土曜サロンももう少して1年になります。やってみたことをどんどんやりましょう！ 一人か二人でダメ元で始めても、意外と賛同者が出るかもかもしれませんよ。楽しい総会と懇親会でした。

糸と糸盆踊り大会 2019

高橋 和子



9月7日（土）に南魚沼市の木六神社で行われた『糸と糸盆踊り大会 2019』に参加してきました。

今年で2回目となるこの盆踊り大会は、南魚沼市出身で現在は東京にお住まいの大谷彩子さんが盆踊りが大好きで、ご自身のお婆様の家の近くの木六神社で行われていた盆踊りを復活させようと孤軍奮闘し、去年より本当に盆踊り大会を復活させた盆踊り大会です。

何故、夢っくすと関係があるのかというと、最初は国際大学の学生さんにも盆踊りに参加してほしいという依頼から始まりました。学生の招集や送迎は国際大学の職員の方が行い、夢っくすは、それに参加する学生さん達用の浴衣を調達するという役目です。今年も10名の学生さんが参加し、浴衣を着て盆踊りや出店を楽しみました。

盆踊りの会場の木六神社は機織りの神様が祀られているそうで、“糸と糸が交差するように人と人とのつながり、地域や地域以外の学生さんとの繋がりが”が布を織るように長く続くといいなと思わせるような素敵な盆踊りになりました。一人の女性の思いがこれだけの地域の人々を動かし、盆踊りの復活を成し遂げるという彼女の心意気にひかれ、これからでもできる限りこの活動のお手伝いをしたいと思います。



ヴィンさん 元気で頑張ってます！

坂大 英子

浦佐公民館の日本語教室で8月27日（火）がヴィンさんとの最後の教室でした。

今年の冬、ヴィンさんはベトナムのハノイから国際大学の学生である奥さんの所に来日して、近くの工場でアルバイトしながら木曜日の午後のクラスに来てくれました。ハノイでも日本語を勉強していたと、その時の教科書持参でした。とても熱心で時々アルバイト先の話なども聞かせてくれ、何時も笑顔で楽しそうでした。

最初はベトナム語の発音が強くてなかなか日本語が聞き取りにくかったのですが、最近ではそれも少なくなり、私達と楽しいお喋りができ、ハノイのことをいろいろ話してくれ、スタッフの中にも行ってみたいと思う人も出てきました。日本で就職したいと東京にも何度か出掛け、その時青春18切符を使って東京の渋谷に行き、ネットカフェに泊まった事など私達には出来ない面白い経験をしたようでした。

最後の木曜日、沢山のお菓子を持参して、四国の香川県に就職が決まったこと、9月3日に浦佐から東京経由で就職先に行くこと、そこにはベトナムの人も4人働いていると報告してくれました。新潟とはまた違う雰囲気であろう四国で元気に過ごして、働いて下さいとスタッフ一同、喜んだり、寂しかったりでした。



マッチマさんの来日

高橋 和子

8月31日（土）、3年前にE-Bizを卒業したMatchimaさんがタイから遊びに来てくれました。同じく卒業生のRajboboさんも三条市から駆けつけてくれました。

Matchimaさんとの出会いは時々火曜日サロンに日本語の練習に来てくれたり4月の着付の時に会ったのがきっかけでした。しかし、E-Bizは1年制なのであっという間に時が流れてしまいましたが、私の事を覚えていてくれて、貴重な日本旅行の途中に立ち寄ってくれるというので、とても嬉しい気持ちになりました。今はタイの三菱UFJ銀行にお勤めされているそうで、お金を貯めて日本に遊びに来たそうです。

学生の頃は忙しくて、なかなか一緒にでかけることができませんでしたので、半日

という限られた時間ではありましたが、魚沼の里や新しくできた魚沼醸造など大学周辺を散策しました。同行してくれたRajboboさんも今は三条市の日本企業に就職し、すっかり日本語が上手になっていました。今は仕事の傍ら、新潟や日本の観光地や日本での自分の経験などをインドの自分の出身地の皆さんに知ってもらえるように、YouTubeで発信しているそうです。1年もしくは2年とい

う短い時間ではありますが、この南魚沼市で学生時代を過ごしたことは若い彼らにとって第二の故郷と言わしめるくらい思い出深いことのように思えます。そう考えると世界50か国近い国と地域の若者がこの国際大学に集うということは南魚沼市にとってもとても意義深いことなのだと思われました。9月末にはまた新しい学生さんが入学します。また新しい思い出作りに私たち夢っくすが少しでもお役に立てればと思います。



うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



入会方法

入会は随時受け付けております。申込書は夢っくすのホームページから入手できます。また、夢っくすサロンでも配布しております（来られる際には事前にご連絡ください）。会費は以下の郵便口座にお振り込み頂くか、または夢っくすサロンに直接お持ちください。

年会費

個人会員：3,000円

家族会員：1,500円

団体会員：1口 10,000円から任意の口数

郵便口座

口座番号：00550-7-74672

口座名称：うおぬま国際交流協会

〒949-6609

新潟県南魚沼市八幡35-7

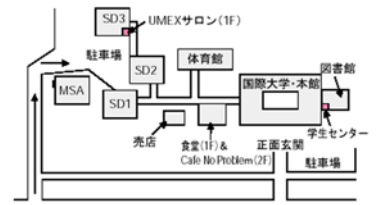
うおぬま国際交流協会（夢っくす）事務局

夢っくすサロン（国際大学第3学生寮1階）

TEL/FAX: 025-779-1520

E-Mail: office@umex.ne.jp

URL: <http://www.umex.ne.jp/>



担当者連絡先

高橋（会長、担当：サロン、多言語など）：070-5083-3123

櫻井（副会長、担当：イベントなど）：080-6608-4830

森山（担当：広報）：090-6945-9402

角屋（担当：キッズ）：090-8773-0329

【編集後記】

国際大学では新入生向けのオリエンテーションや歓迎行事が終わり、いよいよ新学期が始まりました。今年も多彩な国から大勢の学生さんが入学されたので、皆さんも積極的に交流を楽しんでください。(toshi)